

着工した区間は植木町から
飽託郡北部町までの7.18キロで、
工事も急ピッチで進められている。
昨年中に行なった試験盛り土工事を
さらに進めて、工法試験を兼ねた掘削工事に
機動力が集中されている。



上・急ピッチの縦貫道建設工事現場。試験盛り土が完成した部分が見える。

九州縦貫道建設工事いよいよ本格化

九州開発の大動脈として期待される九州縦貫道路の建設はいよいよ本工事に入った。さる4月26日には、植木地区工事の着工式が現地の鹿本郡植木町のインターチェンジ予定地で開かれた。



上・ショベル・ブルドーザー・ダンプカーなどの重機械がすさまじい騒音をたてて動きまわる作業現場。
下・植木地区工事の着工式では工事の安全としゅん功を祈って神事が行なわれた。

下・関係者、約150人が出席して着工式が行なわれた。



上・九州縦貫道の計画図や工法のパネルに見入る地元の人たち。

